



介護職の人材確保について講演する慶応大SFC研究所上席所員の川田英治さん＝熊本市中央区

# 「仕事の価値高めて」

## 中央区 介護人材確保で講演

介護職の離職を防ぐ「無形の価値」を高めてほしい」と訴えた。施設管理職らを対象にした講演会を熊本市中央区のホテル熊本ホテルで開催。介護事業組織を研究する慶応大SFC研究所上席所員の川田英治さん(56)＝水戸市が、「仕事のや

入館無料。午前10時～午後4時半。日・祝日は休館。(096)361-3071。(大倉尚隆)



とう

りがないなど、無形の価値を高めてほしい」と訴えた。定着率を上げる初の試み。県内から約250人が参加した。川田さんは、介護職の特徴として「利用者の自立を支援しサービ

ス量を減らすのが目的だが、仕事は減らず燃え尽きてしまつ」と指摘。介護労働安定センターの調査から、離職者に賃金よりも職場の人間関係や運営について不満があることも挙げ、「社会的使命感や仲間意識など、

働きたいと思える職場にしてほしい」と話した。後期高齢者が急増する2025年問題にも触れ、「だれも経験したことのない領域。人材を定着させ、乗り切らなければならない」と力を込めた。

(林田賢一郎) 熊本ゆかりの本 昨年刊行分紹介 県立図書館 14日まで

昨年1年間に出版された熊本ゆかりの書籍を紹介する「第30回郷土関係出版物展」が熊本市中央区出水の県立図書館で開かれている。14日まで。県内在住・出身者の著作や熊本に関係のある図書645点を、文学、歴史、自然科学などジャンル別に展示。熊日本紙に掲載された書評や、書籍関係のニュース記事も添えられている。

熊日文学賞、熊日出版文化賞の受賞作・候補作を集めたコーナーも設置している。同館は「昨年は戦後70年に当たり、戦中・

アスペルガー症候群と向き合い活動を続けるピアニスト、甲利由布子さん(29)＝熊本市中央区のコンサートが6日午後2時、同市東区の市健康文化ホールで開かれる。8歳からピアノを始め、甲利さんは幼少期から人と会うとひどく疲れ、音や光に敏感だったという。平成音楽大卒業後、3年ほど前に発達障害の一種、アスペルガー症候群と診断された。

障害をやゆされることもあり、啓発の意味も込め、コンサートを企画。甲利さんがバツハ「シャコンヌ」などを演奏するほか、同市内で音楽・ピアノ教室を主宰する大塚夏海さんのソプラノに合わせ伴奏する。甲利さんは「アスペルガーと真摯に向き合って演奏で表現したい」と話している。

入場料は一般2千円、学生と障害者は千円。障害者の介助者と小学生以下は無料。甲利さんの父順一さん(090)8914)6252。(中原功一朗)

「日本のチカラ」元気をもらった RKK番組 熊本放送の番組審議会(小野友道委員長)の本年度第10回会合が3日、熊本市中央区の同社であり、テレビ番組「日本のチカラ」縫製工場の技を世界ブランドへ(2月2日午前10時25分～同55分)について意見を交わした。

同番組は、日本の縫製技術を世界ブランドにしよつと、独自製品の通販サイトを立ち上げた熊本市の老舗婦人



昨年1年間に出版された熊本ゆかりの書籍が並ぶ「第30回郷土関係出版物展」＝熊本市中央区

戦後の体験記や、戦争を題材にした小説などの出版が目立った」と同館(096)3845000。(山口純)

め、コンサートを企画。甲利さんがバツハ「シャコンヌ」などを演奏するほか、同市内で音楽・ピアノ教室を主宰する大塚夏海さんのソプラノに合わせ伴奏する。甲利さんは「アスペルガーと真摯に向き合って演奏で表現したい」と話している。



# ピアノで思いを表現

## アスペルガー症候群啓発も

アスペルガー症候群と向き合い活動を続けるピアニスト、甲利由布子さん(29)＝熊本市中央区のコンサートが6日午後2時、同市東区の市健康文化ホールで開かれる。8歳からピアノを始め、甲利さんは幼少期から人と会うとひどく疲れ、音や光に敏感だったという。平成音楽大卒業後、3年ほど前に発達障害の一種、アスペルガー症候群と診断された。

あれんじ HOT NEWS 「子育て支援活動実践者養成講座」をレポート

くまもとは地域で子育て&孫育て 「こそだてがかり」のトークライブと交流会で、悩みもスッキリ!?

元気の処方箋 “元気で長生き”目指し 防ごう! ロコモティブ シンドローム

あれんじセレクト 2016の春コーデ 着回し力も ポイント!

あれんじキッチン パクチーが癖になる! 家で簡単タイ料理!

里山体験記 in かほく 旧岳間小学校の再出発 カフェのイス作り

あれんじ旅



# く城下をそぞろ歩いて 荷池

